



大和田 加代子  
(碧い風)

## 新たな移動手段の構築は

### 地域住民自らが主体的に取り組む

かなどである。

質問 今後、他地域での展開の方向性はどうか。

答弁 本年度は矢作町二又地区と生田地区をモデル地域として取り組みを始めています。その他の地域についても順次展開していきたい。今後は

ことにより、持続可能な移動手段の構築に努めていきたい。

### コロナ禍での産業振興は

質問 新型コロナウィルス感染症における本市産業への影響はどうか。

答弁 5月1日より市内約700事業者を対象にアンケートを実施した。それによると飲食・宿泊業はそれぞれ50〜60%を超える売上減と

なっている。その他も20〜35%と広く売上が減少している。

質問 本市では他自治体に先駆けてさまざまな支援策を打ち出し、市民に寄り添ってきたと思う。今後の支援策はどうか。

答弁 東日本大震災の被災から再建された事業主の皆様が、コロナ禍によって事業を失うことがないよう、全力で支えることが基本。雇用調整助成金の支給申請費用等の補助、国の持続化給付金対象外の任意団体への補助、利子・保証料の補助を内容とする「新型コロナウィルス感染症対策商工業支援事業費」を着



住民主導の交通検討会（米崎町）

実に実施する。

また、市内経済の活性化策として、プレミアム付き商品券事業を含む「新型コロナウィルス感染症対策地域経済活性化支援事業費」を補正予算案として今期定例会に上程している。

質問 工事による周辺環境への影響はどうか。

答弁 事前に環境調査をして整備しているが、近年の異常気象によるゲリラ豪雨や局地風の変化に注視し適切な維持管理に努める。

### 心の教育について

質問 コロナ禍が子どもた



気仙川水門管理橋を利用した避難路



佐々木一義  
(創生会)

## 松原の避難対策は

### 安全確保目指し県と協議

質問 高田松原海岸の管理計画及び避難計画はどうか。

答弁 県が策定することとなっている。また、海水浴場

質問 来訪者への津波警報等の伝達は。

答弁 防災無線やモーターサイレン、電子サイネージ型

について引き渡しを受けた。瑕疵が確認された場合は、引き渡し後2年間の間に、是正工事の実施を請求できる。

開設期間は、来訪者の安全確保のため市が対応する。

質問 海水浴シーズンの安全対策はどうか。

答弁 公園内の観光案内所には案内員や救護員、砂浜や海上には遊泳者を見守るための監視員を配置し、海水浴客の安全に配慮する。

の表示板、津波フラッグを使用し避難誘導する。

### 公共施設等の管理は

質問 震災後に再建された公共施設の完成後の不具合はどうか。

答弁 完成検査を行い、設計図のとおりと確認したものの

質問 道路整備に伴う交通安全施設の改良はどうか。

答弁 通学路および交通安全施設等の点検をし、危険箇所への把握に努め、必要となる道路改良に係る財源を確保しながら、県公安委員会と協力し、道路交通環境の改善を継続していく。

ちの心と与える影響はどうか。

答弁 自宅で過ごす時間が多くなり、ゲームに起因するいじめや、人を傷つける場面を見ることがある感覚の麻痺等が考えられる。

質問 コロナ禍における大人への心の教育はどうか。

答弁 本市は、震災後、多

くの方からの支援をいただき、復興を進めてきたことからも、絶対に感染者に対する誹謗中傷や差別的な言動等を認めることはできないとの考えを持ち、今後も引き続き、市民には、冷静な行動と対応をお願いしたいと考えている。



中野 貴徳

## 少子化で小学校体制は

### 保護者や地域の声聞き検討

質問 本市児童生徒数の今後の推移はどうか。

答弁 市内の児童生徒数は、令和8年度には、小中それぞれ608人、312人となる見込み。小学生は75人の減少、中学生は71人の減少が見込まれる。

質問 市内小学校の今後の体制についてどう考えるか。

答弁 当面は、1町1校の小学校体制を維持したいが、子どもの状況や学校の実態を

勘案し、保護者や地域の要望等を伺いながら検討したい。

質問 今後のスクールバス運行計画はどうか。

答弁 復興期間の終了に伴い国の財政支援が見込めず、現在のスクールバス路線を維持することは難しい。

### 本市の子育て環境は

質問 妊産婦に対する支援状況はどうか。

答弁 母子健康手帳発行時

から妊婦健診や妊婦歯科検診が受診できる。さらに助産師や保健師等による訪問を全妊婦に行い、妊娠・出産に関する不安の軽減や、出産後のフォロー体制の確認を行っている。未来かなえネットによる「産婦人科オンライン」等も紹介し、相談体制を強化している。

質問 子どもの誕生を祝う意味も含め、子育て用品等のプレゼントや貸与等の考えは。

答弁 子どもを祝う意味も含め、子育て用品等のプレゼントや貸与等の考えは。

### 起業家サポートについて

質問 新規起業が必要と

答弁 例えばベビーベッドなど、出産してすぐに必要な物品等の貸与など、要望があれば検討したい。

質問 子育て応援ヘルパーをより利用しやすくするためにも、同年代によるサポートができないか。

答弁 子育て応援ヘルパー派遣事業は、生後6カ月以降から対応している。現在の委託先はシルバー人材センターであり、若い、同年代の方の派遣は難しい。全国的には、ファミリーサポートセンターという制度もあるので検討する。



運行中のスクールバス

する行政のサポートとして何ができるか。

答弁 本市で起業・やる気のある方々にどのようなフォローが必要なのか、思いを持っていただく方に聞きながら対応を考えたい。